「大学・高専連携事業基金」事業

第 15 回グローバル・コミュニケーション・プログラム（GCP）

参加学生（メンバー）募集要項

1　目的

国際的に活躍できる人材の輩出を目指し、2 大学 1 高専（東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下「高専」という。））の学生が、所属や年齢が異なるメンバーでチームを編成し、共通の課題に取り組むことで課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身につけながら、国際的な感覚を養うことを目的とする。

2　プログラム概要

グローバルビジネスに関連したテーマを題材とし、リーダーの明確なリーダーシップのもと調査研究、仮説設定・検証を行い、課題に対する提言を行う。

参加学生は、本プログラムを通じてグループワーク、英語研修、国内及び海外でのフィールドワーク、海外学生との協働による調査や交流等を行い、異なる学校や学年間の学生同士での共同作業による組織人能力の向上、国際感覚溢れる実践的な課題解決力（人間力）を身に付けるとともに、英語を含むコミュニケーション能力の向上を図る。

3　求める人材

（1）　背景の異なる学生同士でチームで協調しながら自ら主体的に課題に取り組める学生

（2）　海外での多様な経験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

4　対象者

（1）　推薦募集

第 1 ～ 4 学年（募集時の学年）で過去に IEP に参加しすべての課程を修了した学生（レポートを提出、最終報告会で発表、修了証を取得した学生)。

（2）　一般募集

第 1 ～ 4 学年（募集時の学年）

※　ただし、過去に GCP に参加したことのある学生、授業料未納者は除く。

※　第 5 学年及び専攻科生については、この募集要項ではなく、「第 1 5 回グローバル・コミュニケーション・プログラムチームリーダー募集要項」を参照のこと。

5　募集人員

募集人員は「4　対象者（1）推薦募集」及び「4　対象者（2）一般募集」の合計 30 名程度とする。

なお、チームは、チームリーダー 1 名及び高専本科生 5 名程度で構成し、高専教員をアドバイザー

として配置する。

メンバーは、他のメンバーと協力し、チームリーダーを支えながら、プロジェクトの遂行に主体的に取り組む役割を担う。

6　実施時期及び期間

（1）　国内におけるプログラム：2027 年 3 月～2027 年 11 月

（2）　海外におけるプログラム：2027 年 8 月下旬～ 9 月上旬中の 9 日間程度

7　海外における現地活動プログラム実施場所

シンガポール共和国又はマレーシア（派遣先は課題によって高専が指定）

なお、プログラム運営の都合により、渡航先は必ずしも希望に沿えないことがある。希望と異なる渡航先になった場合でも、必ず本プログラム終了まで参加することを了承の上で応募すること。

8　プログラム実施内容（予定）

（1）　国内におけるプログラム【事前学習】

① 課題学習

・チーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案、検証

・国内フィールドワーク（テーマに関連する企業等へのインタビュー、街頭調査等）

・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講等

・国内合宿（3 日程度）

・各チームの進捗確認等を全体で実施

・プレゼンテーション研修

※　詳細に関しては、別紙 1「プログラムのねらい」を参照すること。

※　チーム毎の調査テーマは、プログラム開始時にリーダーが中心となって設定する。

令和 8 年度の調査テーマ

・「外国人観光客向けのニッチな観光ツアー開発へ」

・「日常における運動を『義務』から『日々の楽しみ』へ」

・「旅行の悩み事ならおまかせ⁉　高齢者の「行きたい」をかなえる App 開発を」

・「高齢者の外出を支える地域交通とコミュニティ」

・「旅行先での『食』の楽しみ方を広げよう」

・「Proxy-Button：ボタンひとつで「できない」を「できた」に変える」

② 英語学習（コミュニケーション能力向上研修）

・英会話の練習を目的とした研修（1 回）

・コミュニケーション能力向上研修（合計 12 回のオンラインレッスン）

※　希望者には追加の対面レッスンを実施することがある。

③ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（4 月予定）

（2）　海外におけるプログラム

① 課題学習

・テーマの検証

・海外フィールドワーク（テーマに関連するインタビュー等）

② 英語による現地学生との協働調査・交流・合同プレゼンテーション

③ 日系海外企業の事業調査

（3） 国内におけるプログラム【事後学習】

① 課題に対する提言をまとめた報告書の作成、最終報告会の実施

② プレゼンテーション研修（9～10 月頃予定）

③ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（9月予定）

（4） スケジュール（予定）

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>全体スケジュール</th><th>課題学習</th><th>英語学習</th></tr>
<tr><td rowspan="8">2027</td><td>3月</td><td rowspan="7">事前学習</td><td>○テーマ希望調査
○チーム決定</td><td></td><td>○英会話研修</td></tr>
<tr><td>4月</td><td>○オリエンテーション
○TOEIC、RIASEC 受験
○全体研修①</td><td rowspan="4">○テーマ設定
○個人目標設定
○現状の把握
○課題の把握・分析、解決策の検討
○仮説の立案
○中間報告におけるプレゼンテーション準備
○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等
○進捗確認等</td><td rowspan="4">○コミュニケーション能力向上研修
（合計12回のオンラインレッスン）</td></tr>
<tr><td>5月</td><td>○全体研修②</td></tr>
<tr><td>6月</td><td>○国内合宿（全体研修③）
都内での合宿</td></tr>
<tr><td>7月</td><td>○中間報告会
○全体研修④</td></tr>
<tr><td>8月</td><td>○全体研修⑤～⑥
○渡航前説明会
○プレゼン研修①</td><td>○課題の検証（フィールドワーク）
○英語によるプレゼンテーション
○現地学生交流
○企業調査</td><td>○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等</td></tr>
<tr><td>9月</td><td rowspan="3">海外学習・事後学習</td><td>○海外派遣
○プレゼン研修②
○TOEIC、RIASEC受験</td><td rowspan="3">○中間報告会および海外学習での指摘や調査を踏まえ内容の精査</td><td>○英語プレゼンテーション準備（1日程度）
チーム毎に受講予定</td></tr>
<tr><td>10月</td><td>○全体研修⑦～⑧
○プレゼン研修③
○最終報告会</td><td>○英語プレゼンテーション準備（1日程度）
チーム毎に受講予定</td></tr>
<tr><td>11月</td><td>○全体研修⑨</td><td></td></tr>
</table>

※ 課題学習は原則としてチーム学習を基本とする。

9 経費負担

研修経費の負担は以下の通りとする。また、負担経費の確定は 2027 年度の本プログラム実施予算が決定する 2027 年 4 月 1 日以降とする。

なお、プログラム期間中の途中辞退については、「１５ プログラム途中での参加辞退について」の通り自己負担が発生する。

（１） 参加学生個人負担分

① 国内及び海外プログラム（上記８参照）において、フィールドワークを実施した際やチームごとに自主活動を行った際に発生する交通費及び食事代

② 国内合宿参加中の交通費及び食事代

③ パスポート申請手数料

④ 海外旅行保険料（個人用）

⑤ その他個人で支出する費用

（２） 東京都公立大学法人負担分

① 海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費

② 国内及び海外プログラムに係る研修受講料

③ 英語学習に係る研修受講料及びテキスト代

④ TOEIC、RIASEC 受験料

⑤ 国内合宿に係る宿泊費

⑥ 国内及び海外プログラムに係る諸経費

⑦ 研修参加時の往復交通費（支給上限あり）

１０　出願

（１） 出願書類

【様式１】グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書兼承諾書

（２） 出願方法

上記（１）出願書類を、所属キャンパス管理課教務係へ提出する。

（３） 提出期限

2026 年 12 月 9 日（水）12 時 30 分厳守

１１　選考

（１） 選考方法

小論文及び面接

※　高専に設置している国際交流ルーム（GCO）の利用ポイントも評価の参考とする。

（２） 小論文の実施

推薦募集及び一般募集それぞれに課題を設け、2026 年 12 月 11 日（金）に実施する。（予備日：12 月 14 日（月））

時間・場所については別途指示する。

なお、定められた実施日に欠席した学生は応募辞退とみなす。

（３） 面接の実施

2027 年 1 月 9 日（土）に実施する。

面接方法は、個人面接又はグループディスカッションとする。

時間・場所については別途指示する。

なお、定められた実施日に欠席した学生は応募辞退とみなす。

※　面接は日本語で実施する。

（４）　参加学生の決定方法

小論文及び面接等の結果を総合的に判断し、プログラム参加学生を決定する。

１２　結果の通知

2027 年 1 月 20 日（水）予定

１３　応募書類に記載された個人情報の利用について

応募により提供された個人情報は、選考及び本プログラム実施の目的以外には使用しない。

１４　特記事項

海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣を延期又は中止することがある。また、派遣中に同様の事態になった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

１５　プログラム途中での参加辞退について

（１）　本プログラムを参加途中で自己都合により辞退した場合、「９　経費負担（２）東京都公立大学法人負担分」に記載した経費の一部を本項（２）により参加学生に負担させる。

ただし、プログラムの辞退理由が以下①～④に該当する場合は、「９　経費負担（２）東京都公立大学法人負担分」については免除とする。

① プログラム期間中に本人又は保護者・保証人の死亡や重大な疾病・怪我の発生による場合

② プログラム開始から渡航日前までに発生した家計の急変による、経済状況の急な悪化による場合

③ プログラム期間中に本人又は保護者・保証人が、大規模な災害により被災した場合（対象の災害は高専が別途指定する）

④ プログラム開始から６月末までに、退学・転学を理由とする学籍移動が発生し学籍移動届を提出して受理され、かつ異動届の期日通り学籍移動を行った場合。

なお、本項目における辞退については、辞退が発生した時点までにかかった交通費は、自己負担とする。

※　①については死亡届の写し又は医療機関の診断書、②・③については公的機関発行の各種証明書等、④については本法人の所有する各組織発行の学籍移動許可書で事実確認を行う。

（２）　経費の負担内容は、以下の通りとする。

① 留年が決定した学生及びプログラム開始から６月末までに辞退した場合

TOEIC、RIASEC　１回分の受験料、国内合宿の宿泊費、辞退届提出日までに出席した全体研修及びオリエンテーション実施会場までの交通費（計５万円程度）。

② ７月から最終報告会の開催日までに辞退した場合

TOEIC、RIASEC 2回分の受験料、国内合宿の宿泊費、辞退届提出日までに出席した全体研修、オリエンテーション実施会場及び空港までの交通費、航空券に関する費用（航空券、燃油サーチャージ、空港使用料、各種税金）、現地宿泊費（計30～40万円程度）

１６　その他

（１） 注意事項

① スケジュールに掲載されているものについては、全員参加とする。

② 参加にあたっては、前回プログラムスケジュールを踏まえ、授業、ゼミ等の研究活動、就職活動等との両立が可能であることを十分に確認した上で、申込を検討すること。

③ 欠席及び遅刻状況によっては、以後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。また、本プログラム参加中に留年が決定した学生は、その後のプログラムは参加できないものとする。

④ 出席不良による事務局からの参加取り消しによる経費負担は、自己都合辞退と同一に取り扱う。

⑤ 研究室等に所属している学生は、本プログラムへの応募にあたり、予め指導教員に相談すること。なお、面接選考に進んだ場合は、本プログラムの参加予定について、必要に応じて事務局より指導教員へ確認を行う場合がある。

⑥ 参加決定後に、授業等との日程重複等、やむを得ない事情が生じた場合は、速やかに教員等に相談、連絡すること。

⑦ 本選考においては、合格後の辞退は認めておらず、合格者は責任を持って最後までその役割を果たすものとする。ただし、面接結果の通知後、合格者から辞退の申出があり、その申出が認められた場合には、事務局にて協議の上、次点者を繰り上げ合格とする場合がある。

⑧ 本学で実施する航空技術者育成プログラム、未来工学教育プログラム及びスタートアップ教育支援プログラム（地動計画）に参加を希望するもしくは参加を決定している学生は、本プログラムへ応募を認めない。

（２） 海外プログラム参加時（2027年9月）までに、TOEICスコア400点以上を取得することを目標とすること。

（３） 本プログラムに参加した者は、その経験を活かし、次年度以降のGCP事業に協力すること。

（４） 本プログラムでの活動の様子は写真及び動画等で撮影され、後日公開されるため、予め了承すること。

１７　問合せ先

高専品川キャンパス管理課教務学生係（電話：03-3471-6331）

高専荒川キャンパス管理課教務学生係（電話：03-3801-0145）